

## 平成24年度 施策評価表

分野名	第5章 安全で快適なまち	作成日	平成25年8月5日
政策名	第4節 快適な生活環境の整備	部局	上下水道局
施策名	第5項 下水道の整備	部局長	小堀 修

主担当課	下水道課	関係課	環境政策課
------	------	-----	-------

### 1. 施策の基本方針

施策目的	公共下水道及び農業集落排水の整備を行う。また、計画区域外の地域については、浄化槽の設置者に対して、浄化槽本体及び設置費用への補助金を交付することにより浄化槽の設置推進を図り、市民の生活環境の向上と河川の水質保全を図ることを目的とする。
------	---

### 2. 施策の現状分析

施策を取り巻く概況	市民ニーズ等	社会環境、国・県の動向等								
	快適で文化的な生活の実現をするための、下水道事業の整備がおおむね完了するため「下水道の整備」に関しての市民の満足度は高い。今後は、管路施設の適切な維持管理が求められる。	下水道は生活環境の改善、公共水域の水質保全を目指しています。環境意識のたかまりの中、水質基準の強化(高度処理)が図られ、汚濁水を処理せずに河川に放流する未水洗家屋の水洗化が急務となる。一方、下水道管路施設の経年化に伴い長寿命化のための措置の計画的な実施が求められる。								
	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 20%;">市政アンケート結果</td> <td colspan="2" style="text-align: center;">下水道の整備</td> </tr> <tr> <td>満足度スコア</td> <td style="text-align: center;">45.8%</td> <td style="text-align: center;">2 / 49位</td> </tr> <tr> <td>重要度</td> <td style="text-align: center;">2.3%</td> <td style="text-align: center;">46 / 49位</td> </tr> </table>	市政アンケート結果	下水道の整備		満足度スコア	45.8%	2 / 49位	重要度	2.3%	46 / 49位
市政アンケート結果	下水道の整備									
満足度スコア	45.8%	2 / 49位								
重要度	2.3%	46 / 49位								

施策指標 (成果指標)	指 標 名	達成度(上段:目標 下段:実績)				H26目標	備考(他市状況含む)			
		H22	H23	H24	H25		奈良市	生駒市	大和郡山市	桜井市
公共下水道整備率(普及率)	目標	99.5%	99.6%	99.7%	99.7%	99.7%	91.0%	60.8%	90.0%	68.8%
	実績	99.3%	99.4%	99.1%			(H23年度末)			
	達成率	99.8%	99.8%	99.4%						
公共下水道水洗化率	目標	90.5%	91.0%	91.5%	92.0%	92.5%	93.6%	90.2%	91.2%	84.8%
	実績	89.7%	90.3%	91.2%			(H23年度末)			
	達成率	99.1%	99.2%	99.7%						
農業集落排水整備率(普及率)	目標	100%	100%	100%	100%	100%				
	実績	85.2%	100%	100%						
	達成率	85.2%	100%	100%						
農業集落排水水洗化率	目標	60.0%	60.0%	60.0%	60.0%	70.0%				
	実績	47.7%	46.3%	52.2%						
	達成率	79.5%	77.2%	87.0%						
補助金申請件数	目標	8件	8件	6件	5件	5件				
	実績	1件	0件	3件						
	達成率	%	%	%						

  

施策の評価	H24までの施策成果(指標目標)達成度	b	a 非常に高い	b やや高い	c やや低い	d 低い
	H25以降の施策成果が向上する可能性	b	a 十分ある	b ある程度ある	c あまりない	d ない
	成果達成度向上可能性の説明	公共下水道の整備は、下水道普及率99.1%(平成24年度末)であり、おおむね完了する。農業集落排水整備については、普及率100%(平成24年度末)である。今後は、管路施設の適切な維持管理が求められる。また、生活環境の改善、公共水域の水質保全向上のため、継続して水洗化啓発活動を実施する。浄化槽設置事業については、対象となる家屋の所有者からの申請により対応する事業であるので、合併浄化槽への移行の必要性について、啓発を進めていく必要がある。				

### 3. コストの推移(行政資源投入の状況)

(単位:千円)

		平成22年度	平成23年度	平成24年度		平成25年度	平成26年度
		(決算)	(決算)	(予算)	(決算)	(当初予算)	(見込み)
直接事業費	内 訳	1,500,266	836,032	880,108	763,649	1,008,045	832,265
	一般財源	1,248,230	695,232	806,904	724,144	938,883	721,960
	受益者負担	17,660	35,300	56,940	34,596	51,484	69,627
	補助金等	234,376	105,500	16,264	4,909	17,678	40,678
従事者数	正職員	13.30人/年	11.20人/年	11.20人/年	11.05人/年	12.05人/年	13.05人/年
	臨時・嘱託	1.00人/年	2.00人/年	1.00人/年	1.00人/年	1.00人/年	人/年
人件費	正職員	101,746	85,680	85,680	99,567	118,322	128,150
	臨時・嘱託	2,950	5,900	2,950	2,706	2,781	
退職給与引当金		6,384	5,376	5,376	5,524	11,301	11,301
トータルコスト		1,611,346	932,988	974,114	871,446	1,140,449	971,716

4. 施策の課題

課題	公共下水道において普及率は99.1%・水洗化率は91.2%となったが、生活環境の改善、公共水域の水質保全向上のため、更なる水洗化啓発活動を継続する必要がある。また、昭和43年から事業を進めてきた結果、管路施設等の経年に伴い老朽化がすすんでいる。そのため、早急に長寿命化計画を策定し、計画的な措置を実施する必要がある。農業集落排水においては、普及率は100%であるが、水洗化率は52.2%であり、更なる水洗化啓発活動を図る必要がある。浄化槽設置の必要性について啓発を行っても、対象の絶対数が少ないこと、大掛かりな工事が伴うこと等から、目に見えて効果は出てこない。
----	--

5. 施策の方向性(課題を解決するための方策)

総合評価	次年度		方針	生活環境の改善、公共水域の水質保全向上のため水洗化啓発活動を継続 下水道事業会計の健全化 下水道管路施設の経年化に伴う長寿命化のための措置の計画的な実施 浄化槽設置の啓発を持続
	1次評価	2次評価		
	B	B		

上記担当部局の1・2次評価をもとに市の全体最適を考慮した行政評価委員会による3次評価結果

行政評価 委員会	3次評価		方針	総合評価1次評価及び2次評価の次年度以降方針が、施策の方向性として適当であると判断する。
	B			

【次年度の総合評価】A(取組の強化・推進が必要)、B(現行の取組を見直しながら継続的な対応が必要)、C(経営資源配分の見直し・削減が必要)

施策を構成する事業の評価

事務事業名		事務事業名		事務事業名		事務事業名		事務事業名	
担当課		担当課		担当課		担当課		担当課	
1	下水道維持管理 事業	2	農業集落排水施設 維持管理事業	3	公共・特定環境 保全下水道事業	4	農業集落排水 施設整備事業	5	浄化槽設置整備 事業
	下水道課		下水道課		下水道課		下水道課		環境政策課